

【至峰堂画廊 SHIHODO Gallery】

中嶋草太展 惑星 — 土の記憶 — 至峰堂画廊にて開催

会期：11月17日（金）～11月25日（土）

至峰堂画廊（東京都中央区銀座）は、「中嶋草太展 惑星 — 土の記憶 —」を、11月17日（金）～11月25日（土）に開催いたします。

中嶋草太は愛知県出身、2023年に金沢卯辰山工芸工房に入所。陶器の長く残り続ける特徴を活かし、骨や倒木といった自然物の朽ちゆく姿を表現しています。細密でリアリティのある表現と、作家独自の視点によって生み出される新たな世界観。現実と非現実を行き来するような感覚を体験して頂ければ幸いです。

自然の中で動物が死に絶えると、朽ちて様々な生き物に分解され土に戻ります。そこから芽が出て成長し、やがて葉をつけた樹木も枯れて、土の養分となり繋がっていきます。私たちが扱っている粘土も数万年から数百万年かけて岩石が変質して出来ています。岩石自体も長い目で見れば循環しているといえます。こうした土や生き物の循環をテーマに、骨や種、朽ち木といった終わりや始まりを示唆するモチーフを扱い制作しています。作品では現実にあるそうで起こりえない現象を具現化し、骨や倒木といった朽ちゆく姿と陶器の長く残り続ける特徴を混在させています。作品から鑑賞者に現実と非現実の狭間を感じてもらい、土という素材、自然、生き物、人、循環などを考える窓口になれば幸いです。

中嶋草太



中嶋草太「古へ語り - 玉響 -」
W29×D7×H17cm（手前） W31.5×D10×H18cm（奥）



中嶋草太「古へ語り # 1001」
W5×D7.5×H4cm

【中嶋草太展 惑星 — 土の記憶 — 概要】

会期：2023年11月17日（金） - 11月25日（土） 会期中無休
営業時間：11：00～18：00 最終日は17：00まで
作家在廊：2023年11月23日（木） - 11月25日（土）
会場：至峰堂画廊
東京都中央区銀座6-4-7 いらか銀座ビル1階

< お問い合わせ先 >

至峰堂画廊 / 広報担当 山岡

MAIL：ginza@shihoudou.co.jp TEL：03-3572-3756 FAX：03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>
東京都中央区銀座6-4-7 いらか銀座ビル1・2階

作家略歴



中嶋草太 Sota Nakashima

【略歴】

- 1996年 愛知県出身
2021年 愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科陶磁専攻 卒業
2023年 愛知県立芸術大学大学院美術研究科陶磁領域 卒業
金沢卯辰山工芸工房 入所

【個展】

- 2022年 動物の骨を土でつくる中嶋草太の「陶骨展」(虚屯 / 福岡)
2023年 中嶋草太 陶展 - 古へ語り - (あべのハルカス近鉄本店アートギャラリー / 大阪)

【グループ展】

- 2022年 KOUGEI Art Fair Kanazawa 2022 (Hyatt Centric Kanazawa / 金沢)
2023年 令和4年度愛知県立芸術大学卒業・修了制作展 (愛知県立芸術大学 / 愛知)
現代作家茶碗特集 (日本橋三越本店美術工芸サロン / 東京)

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

作品介绍



中嶋草太

「古へ語り - 玉響 -」

陶土

W29×D7×H17cm (手前) W31.5×D10×H18cm (奥)

2023 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

作品介绍



中嶋草太

「古へ語り #1001」

陶土

W5×D7.5×H4cm

2023 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

作品介绍



中嶋草太

「古へ語り - 臍 -」

陶土

W34×D19×H11cm

2023 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

作品介绍



中嶋草太

「HANA series- 膨れ花 - # 1」

陶土

W8×D8×H9.2cm

2023 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

作品介绍



中嶋草太

「TANE series - 弾け種 - #1」

陶土

W7.5×D7.5×H9.5cm

2023 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY

作品介绍



中嶋草太

「TANE series - 零れ種 - #1」

陶土

W7.5×D8×H7.2cm

2023 年作

心と眼を大切にする

至峰堂画廊

SHIHODO GALLERY